# 平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

		-				1 及 20 十 0 7] 00 日
評価対	象事業			評価者	下水道剂	可川課 担当課長 杉田 公敬
≠77 東女 O.C	<b>英</b> 涯妣共英:	□ 中央 (		自治事務	主管課	下水道河川課
都整-26 管渠維持管理費(		.賃(符別云司)		法定受託事務	関連課	浄化センター、作業センター、道水路管理課
総合計画上の 位置付け	分野	下水道•河川		施策の方針	下水道の整体	備∙管理

#### 1 事業の目的

## 2 平成27年度に実施した事業の概要

市民等

既存管路施設の機能維持を図り、流入汚水の処理を継続して、適正な施設 機能の維持管理を行うため。 义

既存管路施設及び汚水送水施設の機能維持と延命を図る。

・管路施設内の堆積物の除去、伏越箇所の浮遊物・堆積物の除去・清掃や蓋の 不具合による振動・騒音の解消及び道路陥没の原因となる破損した取付管等の 修繕や布設替えを行った。

・私設下水道修繕等の支援補助を行い、下水道事業として水質保全及び維持管 理の向上を図った。

・大船西枝線の公共下水道(汚水)維持工事については、年度内に完了できない ため、翌年度に繰越しを行った。

## 3 事業費等基礎データ

一人	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
デヘ	人口	177,464人	177,243人	人口	176,869人	•各年3月31日
タの	世帯数	80,368世帯	80,676世帯	世帯数	80,928世帯	(住民基本台帳)
	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	72,446	58,459	当初予算(千円)	82,317	
運	国県支出金			国県支出金		
宮	地方債			地方債		
営資源	その他	69,048	56,729	その他	78,201	
状	一般財源	3,398	1,730	一般財源	4,116	
況	人員配置数	2.1	2.1	人員配置数	2.1	
	人 件 費(千円)	16,110	16,342	人 件 費(千円)	16,488	
事	総事業費(千円)	88,556	74,801	総事業費(千円)	98,805	
経業 費運	市民1人当りの 経費(円)	499	422	市民1人当りの 経費(円)	559	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

#### -----

拠等)

4 ]	评值	<u>「結果</u>		※「效	率性」「妥当	性」「有効性」「	「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。				
効 率	性	事業費に削減余地はないか		2. ない	١						
<i>X</i> ) +	II	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合	できない						
		事業の実施に対する市民ニーズはある	か	2. 増大	こしている						
妥 当	性	事業の廃止・休止による市民生活への影	響は大きいか	9. 実施	面が義務付け	られており(法気	定受託事務等)、廃止・休止はできない				
		今後も市が実施すべき事業か		9. 実施	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある						
有 効	性	事業の成果は得られているか		9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない							
(H 2/J	IT	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業	美の方向性や	手法は概ね適	切であり、一定程度貢献している				
公 平	性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1. 🛭	死に受益者負	担を求めている	が、今後、その額や対象等を再検討する必要がある				
				△-2. ī	市民等と協働	がして事業を実力 がよる	施することはできない				
協	働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働爭	実施済の場合	うのパートナー					
		□ a:事業内容を見直す <b>⇒</b>									
事業	内		見 位 拡大	rtn	見 直						
容の	方	■ D: 尹未四谷は先仏地9C9 3	類しい稲小	容							
向性	ŧ	□ c:事業を休止又は廃止する	□ その	他							
		□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	する =	<del>?</del>			事業へ統合				
予算	規	■ A:予算規模を拡大する	事業内容·予	•管理致	延長は整備に	二伴い毎年増加	『しているが管渠施設の清掃浚渫等の委託料は、				
模の		□ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向 性設定の理由			最低限の延長 <sup>2</sup> 切な維持管理2	や回数を維持しているのが現状であり、老朽管が				
IPJ7:	Ė	□ C:予算規模を縮小する	圧設足の垤田	増えく	ハイナン、適	別な維持官垤/	( <sup>1</sup> )四乗にはる。				
総評( 価に する:	対	化が進んでいる旧市街地や大規模住宅	と団地の下水道	直施設で	では、小規模	な陥没などは起	後保全型の対応となっている。また、管渠の老朽 足きたが重大な事故は確認されていないものの、				
え方、	根	現状が十分な体制ではないので、平成 より適正な維持管理を行う。	27年度に策定	<b>された</b>	「鎌倉市社会	※基盤施設マネ	ジメント計画」で一層の業務の効率化を目指し、				

平成27年度 にあたって (前年度未解 を含む	<ul><li>▶ 住宅団地等の老朽化が進んでいる汚水桝や取付管に木根が侵入して、下水が円滑に流れなくなる事例が増えている。</li><li>▶ 下水道施設の標準耐用年数50年を超す施設が急速に増える状況で、適切な維持管理や十分な実態調査を実施する。</li></ul>									
課題解決のた た平成27年原		・休日等を含む緊急時の対応については、作業センター及び委託業者と連携を図りながら、実施した。 ・本管が雨水の浸入で満管となり宅内へ汚水が逆流した箇所に、逆止弁を設置する対策を実施した。 ・未解決								
未解決の課題 課題とその	理由	ない。 ・台帳や	管理履歴/	などが電子化さ	や耐用年数を経 れていないこと	で、施設の状態	を一元的に把			
〇 他市比	ऍ・ベンチ	<u>マーク(</u>	県内外自	治体など他	自治体や民間	団体との比較	交値)			
比較事項	管渠維持	管理費(百	百万円)H	27版神奈川県	の下水道事業	平成26年度元	ŧ			
団体名	鎌倉下	<b>方</b>	<b>泰</b> 沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	239		504	248	149	109	506	11	48	6
比較事項										
団体名	鎌倉下	Ħ								
他市実績										
比較事項									<u> </u>	
団体名	鎌倉市	fi								
		-								
他市実績										
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方 神奈川県がまとめている資料から、管渠の維持管理費の比較とした。 ・										
指標の内容	管渠浚渫						単位		票の一	備考
当該指標	E設定した理由 年次 H26 H27 H28 H29 H30 H31									

② 事業実施に係る指標					_	単 位		上にする		
指標の内容管渠浚渫延長	管渠浚渫延長							指標の 傾向	$\Rightarrow$	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
目標値は、小町通や仲通など、	目標値	21.2	21.2	21.2	21.2		21.2		21.2	
定期的に管内の浚渫を実施している年間の予定延長で、最低限	実績値	26.5	26.5							
の数量と判断している。	達成率	125.0%	125.0%							
指標の内容						単 位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30		H31	
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単 位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30		H31	
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方 飲食店などが多く、油分が多く流れる箇所などの定期的な清掃・浚渫は、管の閉塞事故を未然に防ぐ観点から重要な維持管理業務である。現在、定期的に実施している箇所や回数は、約500kmある管渠延長の4%程度で、今後も老朽化が進む管渠が増加することから、必要な延長は増えることが予想されるが、当面は定期的な箇所について、予算から現状維持とした。

#### ● 事業に関する特記事項

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業

■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業